

議 平生町 議会だより

3月議会報告

3月定例会 3/9~25 (15日間)

第156号

2020年4月24日

発行 平生町議会 発行責任者 中川 裕之
〒742-1195 山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
E-mail gikai@town.hirao.lg.jp
編集 議会広報広聴調査特別委員会
印刷 中村印刷株式会社



- 平生小学校相談室を児童クラブ利用施設に整備
- GIGAスクール構想^{学 校} ~令和時代のスタンダードとしての1人1台端末環境~
- 特別会計 国民健康保険事業基金 1億700万円取崩し!

新型コロナウイルス感染症対策のため議事堂にて委員会・全員協議会を開会

主
な
内
容

- 令和2年度当初予算の概要 2ページ
- 予算特別委員会^{討論} 3~5ページ
- 常任委員会審査報告・臨時会^{討論} 6ページ
- いっぱん質問 5人 7~11ページ
情報公開/町民の人材育成/変形労働時間制/学校給食のあり方/少子化対策
新型コロナウイルス対策/持続可能な団体活動/国の制度活用/災害時に役立つ給食施設
- 新庁舎整備調査特別委員会・魅力ある議会づくり調査特別委員会
人事案件・議会の動き・6月定例会予定など 12ページ

令和2年度予算の概要



総額 91億5,958万円 前年度比8,163万円増(0.9%増)
 [一般会計] 50億4,700万円 前年度比7,500万円増(1.5%増)
 [特別会計] 41億1,258万円 前年度比 663万円増(0.2%増)
 予算編成テーマ：活気にあふれた魅力あるまちづくり

令和2年度 予算編成方針

新庁舎整備事業、老朽化した公共施設の長寿化対策、子ども子育て支援・高齢化社会対策の社会保障関係経費など、町が抱える諸課題への解決に向けて創意工夫と柔軟な発想により効率的に事業を推進し、未来へつなぐ財政運営を行う必要があります。限られた財源の中で、本町がもつ魅力を最大限に引き出し、若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現するとともに、真に住み続けたい、住んでみたいと思えるまちづくりを進めていきます。

「当初予算の概要」より抜粋
 各地域交流センターにて閲覧可。

【人件費】対前年度8,615万円(8.6%)増加見込み。会計年度任用職員制度が導入され、臨時・非常勤職員等が任用移行された為。

重点施策

【少子高齢化対策】

- ▽堀川公園多目的トイレ改修 おむつ台等設置 390万円
- ▽家庭教育支援チーム立ち上げ 80万円

重点施策

【地域資源の活用】

- ▽イタリア〜ノひらおナンバープレート交付事業 22万円



原動機付自転車500枚
10月1日交付予定

- ▽福祉医療対策(乳幼児)医療費助成事業を拡充 1,581万円
- ※要件該当乳幼児を対象、保険適用医療費の自己負担分助成。所得制限を撤廃。

【普通建設事業費】

- ▽結婚新生活応援事業を拡充 150万円
- ※1夫婦につき最大 30万円

- ▽漁港海岸保全施設整備事業 5,500万円

- ▽認知症高齢者見守り事業 88万円
- ※認知症高齢者の小型タグ発信機を携帯アプリで探す。

- ▽漁業集落排水施設改築事業 3,000万円

- ▽ひらお特産品センター(イタリア風)改修 2,400万円

- ▽危険ため池整備実施計画策定 1,350万円
- 切開工事 2,000万円

【防災関連】

- ▽消防ポンプ積載車購入(第2分団) 947万円

【健康関連】

- ▽介護予防教室2020(やまぐち元気アップ体操) 81万円
- ▽歯科検診事業 235万円
- ※40〜74歳までの国保被保険者を対象。

- ▽洪水ハザードマップ作成 600万円

- ▽高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 451万円
- ※保健師を配置し、高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に行う。

- ▽大内川総合流域防災事業(栄橋架け替え) 2,000万円

- 【給食施設】
- ▽今後の給食のあり方検討支援業務 599万円
- ※令和2年度はPTA代表、校長を含めた検討会立ち上げ、専門業者の分析・計画をもとに、議会・住民・保護者等の理解を得る。

- 【地域振興】
- ▽地域交流センター改修 500万円
- ※佐賀地域交流センター床改修、尾国分館屋根改修。

- 【新庁舎】
- ▽新庁舎整備事業 2,904万円
- 基本設計・実施設計、地質調査
- ※令和4年度完成予定

予算特別委員会

一般会計

質 職員の休暇取得状況が悪い。7人を新規採用するというところであるが、給料や時間外報酬、賃金等が改善されると考えてよいか。

答 新規採用職員は退職者数に見合った数プラスで考えているため、予算書上、職員の給与は増加している。時間外手当は、人間的な手当をすることで増えることはない。

質 職員の採用については、「定員適正化計画」で指標値を示している。いきなり職員を採用して人数を超過するということがないと説明不足ではないか。なぜ決められた計画が実行できないのか。

答 業務量が増えて職員数が減ったのに退職者の補充を控えたため職員の健康問題に発展した。職員を守るということを含めて職員採用となった。行政改革大綱の見直しを令和2年度で行われるので、その時に改めて考え方について示していきたい。

答 要綱的には町内施工業者としていますが、具体的には相談させてもらい、要綱の改正等を含めてやらなければいけないとなれば、検討・研究していきたいと考えている。

質 空家リフォームは、リフォームする時に30万円を限度として2分の1、町内施工業者という条件付きである。町外からの転入者の場合、町内の施工業者に知り合いがなく、町内業者に頼めず、住みたいがリフォームできない。町外からの転入者については検討する必要があるのではないかと



質 放課後児童クラブの一部を平生小学校相談室で通年開設することであるが、学校と児童クラブの開設時間は異なる。教職員の負担、施設管理の責任のあり方、特に施設管理については、どの様に対応を考えているのか。

答 児童クラブの責任において、適切に管理することとしていることから、学校教職員への負担はないと判断している。

開設するにあたり、4年生以上の高学年を対象として1クラス設けており、有資格の支援員と補助支援員の常時2名体制とする。人数によって補助支援員を増やすことで子供達の安全、見守り等を実に行っていくと考えている。

質 GIGAスクールの構想は、一人一台端末整備とのことだが、公費で一人一台の端末整備をする必要があるのか。

答 国は2023年度から全国学力学習状況調査にパソコン導入を目指している。そういう方向の中でGIGAスクール構想が国で立ち上げられている。一斉学習によるICTを使った教材提示だけではなく、インターネットを用いた調査活動を授業の中で展開するなど、授業がこれから大きく変わってくる。

オンライン英会話についても英語の教科書の流れに沿って入れていくもので、ネイティブとしっかり繋がって、一対一の環境が作られることを狙っている。

ICT機器整備導入計画			~2018年度 (~30年度)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	計
佐賀小	タブレット	教員用	6台						6台
		児童用	21台		20台				41台
	無線LAN整備	整備済							-
平生小	タブレット	教員用	25台						25台
		児童用		123台	135台		50台	100台	408台
	無線LAN整備	整備済							-
平生中	タブレット	教員用		23台					23台
		生徒用		12台	148台	100台			260台
	無線LAN整備								-
			普通教室棟：特別教室棟：						

ギガ GIGA スクール構想

小中学生徒用タブレット端末導入 222万円

ICT支援員 242万円

オンライン英会話 150万円



ヌートリア（げっ歯目）
頭胴長50～70cmのネズミ
前歯がオレンジ色、水辺に
住み堤防等に穴をあける。

【問】 捕獲や事故ではないイノシシの死体が町道のそばで発見されている例があると思う。今後増加傾向と推測するが、対策は。
【答】 死体処理で、豚熱の関係の体制をとることを検討しているか。

【問】 わなで捕獲する以外の方法で死体が発見される状況が増えており、処理費が高額になっている。
【答】 豚熱との関連については、家畜保健所と産業課職員は土日も連絡がとれる体制を構築している。

【問】 有害鳥獣対策事業の捕獲頭数にヌートリアが入るのか。捕獲の研修や費用面についての考えは。
【答】 現在の破損状況を見ると、擬木の中に入っている鉄筋が錆び膨れて擬木が割れている。潮風があたりところなので、ステンレスの方が価格は高いが中に塩分が入っても大丈夫なので選んだ。

【問】 死体が発見されたので、地域に生息しているかと判断している。来年度、鳥獣被害防止計画を策定する作業を進めており、その中でヌートリアの捕獲を明記し、捕獲の対象鳥獣として定める。予算も含めては。
【答】 丸山海浜パーク防波堤手すり改修で、ステンレスにすると安全性が高まるという説明だったが、擬木の方が観光という面ではよいのではないか。金額面でステンレスの方が安価だったのか。

【問】 体育館照明改修のLEDは直進性が特徴だが、競技に支障がないことを検討して機材を選ぶ予定としているか。
【答】 LED化するのので電球の昇降装置はつけない予定とは思いますが、装置の有無は。

【問】 競技用の照明ということで認識しているが、工事に入るまでに再度確認する。昇降装置付を予定。
【答】 競技用の照明ということで認識しているが、工事に入るまでに再度確認する。昇降装置付を予定。

特別会計

介護保険事業

【問】 現在の破損状況を見ると、擬木の中に入っている鉄筋が錆び膨れて擬木が割れている。潮風があたりところなので、ステンレスの方が価格は高いが中に塩分が入っても大丈夫なので選んだ。
【問】 認知症総合支援事業の小型タグは発信がブルトウースで30mということだが山間部を懸念しておかないといけない。障害物に対する発信力は。
【答】 30mは見通しがあるところなので、電波が遮られるところは30m届かない。

国民健康保険事業

【問】 この度の変更で、昨年目指した応能割と応益割の50対50が崩れている。本会議での答弁は県の標準税率の割合に合わせたということだが政策の整合性が必要と思う。どのように検討したか。
【答】 3年後にまた元に戻すと税を増やさないといけなくなる。もう少し時間をかけてもよかったのではないか。

		2019年度税率	令和2年度税率	一世帯当たりの税額（年）	基金残高	
国民健康保険税	医療分	所得割	6.3%			4.9%
		均等割	28,000円	18,500円		
		平等割	25,600円	18,200円		
	後期高齢者支援金分	所得割	2.1%	1.8%		
		均等割	8,800円	6,700円		
		平等割	8,700円	6,600円		
	介護納付金分	所得割	2.0%	1.8%		
		均等割	9,400円	8,500円		
		平等割	4,300円	4,200円		

下水道事業

【問】 下水道の接続に担当者は訪問等、一生懸命やっている。消費税の計算をし直して財源確保もしているが、町全体で歳入確保のために動かなければいけない。
【答】 一般会計の繰り入れは2億8,984万円で、これは供用開始区域のみ税金をつぎ込んでおり、不公平である。財源確保のために組織をあげて取り組んでいく方針を打ち出せないか。

【問】 色々な事情があるが、整備した以上は使ってもらわないといけない。整備ができていないのに未接続の人には、働きかけをするしか方法はない。どういう働きかけがいいのか対応策を考える。

討論 (要約)

反対

第6次行政改革大綱に定める「平生町職員定員適正化計画」によると、新年度当初の職員実数を114人と定めているが、予算書によると一般職が116人、フルタイム勤務形態の再任用職員が2人の計118人との説明であった。その影響額は約2千万円と試算する。

分野別計画、いわゆる行政計画の修正・変更はあると思うが、手順チェックは必須である。新年度予算で全く説明がなされていないことは、平生町参加と協働のまちづくり条例第6条第3項の「町の責務」を果たされていないものと判断し、令和2年度各予算議案に反対する。

河内山宏充 議員

反対

マイナンバーカード普及に関する予算が計上されており、セキュリティは後回しで、利用・活用策の拡大一辺倒で端末の普及やネットでの活用が進むことにより、危険性は高まるばかりであり、このような事業に貴重な税を注ぎ込むことは認められない。また、森林贈与税の基金への積み立てについては、2023年に東日本大震災の復興のための税を翌年から名前を変えて財源とするもので、あまりに安易な方法であり認めることはできないことから、令和2年度一般会計予算に反対する。

繰越明許費として、社会保障・税番号システム改修事業費が含まれているが、一人5千円分のポイント付与を呼び水にマイナンバーカードの普及を図ろうとするもので、個人データ一括把握することで社会保障給付の削減に利用しようとする意図がある。個人情報本人の承諾なしに広がるリスクがあり、これらの苦情対応に町の事務負担が増えると考ええる。

GIGAスクール構想に基づくICT化事業には4千万円近い予算が計上されているが、集団的な学びの軽視、教育の画一化につながるリスクを考えると、ICT化に財源を使うのではなく、先生が一人一人の子どもたちとゆとりをもって向き合えるよう、教職員の増員こそ急ぐべきだと思ひ、2019年度一般会計補正予算に反対する。

赤松義生 議員

令和2年第2回定例会審議結果 (反対があったもの)



議案第 3号	2019年度平生町一般会計補正予算	可決	反対1人
議案第 9号	令和2年度平生町一般会計予算	可決	反対2人
議案第10号	令和2年度平生町国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決	反対1人
議案第11号	令和2年度平生町下水道事業特別会計予算	可決	反対1人
議案第12号	令和2年度平生町漁業集落環境整備事業特別会計予算	可決	反対1人
議案第13号	令和2年度平生町熊南地域介護認定審査会事業特別会計予算	可決	反対1人
議案第14号	令和2年度平生町介護保険事業勘定特別会計予算	可決	反対1人
議案第15号	令和2年度平生町後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	反対1人

賛成

下水道事業および漁業集落環境整備事業における特別会計補正予算の大半は、過年度分消費税還付金などであり、両会計合わせて1,414万6千円の歳出縮減となっており、これは、従前の消費税算定方法を職員が改善した結果であり、担当者はもちろんのこと、職員皆さんの努力を称え、2019年両特別会計補正予算に賛成する。

定員適正化計画策定時には想定し得なかつた事情を考りやするとともに、新たな条例制定により、職員が辞職することなく、勉学に励み、その会得したスキルを町政に反映できる環境を整えようとすることを評価する。定員適正化計画自体を見直すべき時期であることを指摘するとともに、職員が疲弊することがない職場環境、事務系職員と技術系職員の採用バランスを含めた適切な人員配置、きちんと若手を育成できる組織環境、職員が年次有給休暇を取りやすい環境、そして、職員本人がその家族を守っていくことができ、職員自身が生き生きと仕事できるような環境を整えることを願ひし、令和2年度予算および平生町職員の自己啓発等休業に関する条例に賛成する。

中村 武央 議員

常任委員会審査報告

臨時会



産業文教委員会

本会議から付託を受けた案件を3月16日に慎重に審査した結果、全ての議案は可決すべきとなりました。主だった審査経過は次のとおりです。

一般会計補正予算

質 小学校前の歩道橋の現状は。

答 詳細設計を終えて、夏休み中くらいの撤去を予定している。

質 下水事業負担金の減額の内訳は。

答 納付方法で一括と分割で計上していたが、一括納付が少なかったことと地元調整の関係で工事ができない部分があった。

質 有害鳥獣の捕獲に

1日に複数回出動することがあるのか。
答 市街地では捕獲

活動ができないので追い払うこととなり、1日に複数回出動することがある。

条例

質 町営住宅の連帯保証人について保証金額を明示することや、保証人を不要にしているが、本町の取り組みや考え方は。

答 入居者に不利益にならないよう状況を見ながら判断をしたい。

総務厚生委員会

本会議から付託を受けた案件を3月13日に慎重に審査した結果、全ての議案は可決すべきとなりました。

継続調査案件行政報告

病後児保育事業を請け負っている事業者より、撤退したいとの申し出があった。

病後児保育室「のびのび」 利用実績

年度	平成 28	平成 29	平成 30	令和元
平生町	8 (0)	20 (0)	2 (0)	1 (0)
柳井市	8 (3)	14 (0)	3 (0)	3 (0)
田布施町	14 (2)	0 (0)	2 (0)	5 (0)
他市町	11 (0)	19 (0)	2 (0)	2 (0)
計	41 (5)	53 (0)	9 (0)	11 (0)

(他市町内訳) 周南市 2 光市 17 光市 2 周南市 2
光市 3 周防大島町 2 岩国市 6

※かっこ書きは非課税世帯(再掲)

※定例会最終日の全員協議会において、令和2年度は事業継続するとの報告があった。

第1回平生町臨時会が1月24日に開催され、2019年度平生町一般会計補正予算・工事請負契約(平生町新庁舎整備事業)が審議されました。採決の前に、4名が退席し、賛成全員により可決されました。

反対討論(要約)

新庁舎の整備については、借入金で新庁舎の整備を行う計画になっている。その額を30年かけて返済すると借金が9億円、10年で返済するものが2億円、合計11億円が予定されている。2030年代の前半には財政基金がほとんど底をついて町民の生活に大変重大な事態が生ずる可能性がある。そうなれば公施設の整備、生活環境の整備にお金を回すことはできない。今後の人口推移をみても、大きな収入源を見込むことはできない。新庁舎の財政計画は厳しいものがある。特に建て替えなければならぬ理由は防災対策であるが、町の行政改革を推進する上で重大な支障が生じている。私は、簡単な工法で財政の許す範囲内での建設を訴えてきた。基本構想を町が作成した時期にはこのままでいくと大変になるということで中身について質問してきた。前町長が特別委員会でも工法及び工期については再度調査し、報告するという約束があった。行政で約束あったにも関わらず基本構想をさらに進めるばかりで一心に進み今日の事態になってきた。何度も警告してきたが、今回の案件には賛成することはできない。

平岡正一 議員

庁舎建設に係る財源問題を考えた時、ここで立ち止まるべきという観点に立った。庁舎建設の議論についてももう少し慎重に対応するべきである。

赤松義生 議員

賛成				退席		新庁舎工事請負金額 8億1,290万円
岩本議員 中本議員	河藤議員 中村議員	村中議員 中丸議員	松本議員	平岡議員 細田議員	河内山議員 赤松議員	



細田留美子 議員

いっぱん質問



が聞きたい



質 情報の共有化を図れ

答 全て公開しているが、わかりやすい表記に努める

質 住民と行政が対等な立場で役割分担をする地域主権推進のため行政の持っているすべての情報の開示が必要だ。そのため条例も整備されている。町民への情報提供の現状を聞く。

答 町長 情報公開は誰もが見ることのできる広報、お知らせ板、ホームページ等、最大限の努力をしている。計画策定等については、パブリックコメント制度を活用し、皆様の意見を広く聞き、作成後は地域交流センター等でも閲覧できるように設置する。



閲覧資料（各地域交流センター）

住民自治のまちづくりに必要な情報は重要になる。予算は住民生活に大きな影響を与える。良くわかり、興味を引く具体的な予算の説明書が作れないか。

行政への関心はもとより参加のまちづくりをめざし広報や当初予算の概要はよりわかりやすい内容、表記に努め、身近なものとなるよう研究を重ねて行く。

質 一人ひとりが輝くまちに

答 住民相互や住民と行政の協働の促進を図りたい。



大野地域交流センター

質 「人もまちもいきいき輝く平生」を実現するために地域住民の人材育成が必要だ。町が進めている参加と協働への取り組みは進んでいるのか。

答 町長 来年度から3年間にわたって、職員及び住民の協働を推進する能力の開発に取り組む。その具体化の計画として「平生町人材育成アクションプラン」を作成しているところである。同プランに沿った取り組みを進めていくことで、職員相互の協働を推進し、住民相互の協働や住民と行政の協働の促進を図ってまいりたい。

答 教育長 近年、文化協会、音楽協会、体育協会にあっては会員減少や高齢化など課題があるのが現状。団体の活動把握について町長部局と一緒に取組みを進め、自主的、自発的な活動への支援連携を進める。





赤松義生 議員

その他の質問

- ・ジェンダー平等
- ・上関原発
- ・新型コロナウイルスへの対応

質 子どもにゆとりを持って向き合えるよう先生の増員を

答 増員が望ましい姿であり、引き続き要望する

質

昨年、改正公立学校教員給与特別措置法が成立し、「1年単位の変形労働時間制」の導入が可能になった。すでに導入している国立大学の附属学校では、逆に総労働時間が増えているという実態がある。

答 教育長

昨年、改正公立学校教員給与特別措置法が成立し、「1年単位の変形労働時間制」の導入が可能になった。すでに導入している国立大学の附属学校では、逆に総労働時間が増えているという実態がある。

先生を増やし、業務を削減しなければ先生が子供たちとゆとりをもって向き合える学校にすることはできないか。

調査の結果を直視すれば教員の大幅増員を進め、業務の負担等の軽減を図る事が望ましいと認識し、期待もしている。引き続き全国町村教育長会を通じて要望する。



平生中学校

質 学校給食の食材は、町内商店で

答 食材調達は町内商店を利用することを求めていく

質

学校給食のあり方が検討されているが、私は、現状の自校方式が最良の方式と思っている。

答

本町の学校給食は完全給食であり、食材調達は、3校で献立検討会を開催し、町内で調達できるものは、全て町内商店に各学校で発注している。

現在、学校給食の食材は町内の特産品センターと商店から調達されており、将来的にもこれを継続することが地域の活性化にもつながると思う。

学校給食のあり方検討において、この地産地消の視点は最低限必要と思うがいかがか。

今後の学校給食施設の方針、あり方については、専門業者による分析をもとに議会、住民及び保護者等の理解を得ることになるが地産地消の視点は忘れずに協議を重ねていきたい。



ひらお特産品センター



松本武士 議員

質 SDGs (持続可能な開発目標) を取り組めないか

答 指標を設定し、第五次総合計画を作成したい



エスディジーズ
SDGsとは : Sustainable Development Goals の略称で持続可能な開発目標を指す。2015年9月の国連サミットで採択され、2030年までの国際目標。17のゴール、169のターゲットで構成。

質

「消滅可能性都市」とされた平生町は「持続可能な町」となるべく努力しなければならぬ。SDGsの指標を「第五次平生町総合計画」に入れ、確実に持続可能な町になるよう取り組めないか。SDGsにおける自治体が果たす役割を理解しているか。担当部署の設置は。フードバンク事業に取り組んでどうか。

答 町長

本町の实情に合った指標を設定し、「第五次平生町総合計画」を作成したい。SDGsを活用することにより地域課題の解決を図り、持続可能な地域社会を目指すことが求められている。山口県においては「フードバンク山口」のみが実施しているが、定着していないのが実情。本町としては、市民団体などに働きかけを行うしていきたい。

質 「平生町未来戦略」目標達成ならず、もっと少子化対策を!

答 先進事例に学ぶべきところは学びたい

質

「平生町未来戦略」の合計特殊出生率・出生数は達成できていない。今回の新年度予算での対策でも十分だと思えないのだが、不妊治療の保険適用や出産祝い金はできないのか。平生町で無理なら県・国に要望してはどうか。
また、兵庫県明石市や岡山県奈義町のようにもっと少子化対策はできないのか。

答 町長

令和元年度の出生数は推計75人で目標達成は厳しい状況。安心して出産や子育てが出来るよう様々の事業に取り組んだが、出生数は減少している。出産祝い金などについては本町も財源が厳しいので国・県に対して要望していきたい。

【平生町未来戦略目標】		
合計特殊出生率 1.7		
出生数 100人以上		
年	合計特殊出生率	出生数
26	1.39	66
27	1.60	80
28	1.77	76
29	1.63	68
30	1.21	48



中本敦子 議員

質 新型コロナウイルス感染症の対応は

答 状況の変化に対応し、取り組む

質

本町の新型コロナウイルス感染症に対する現状と今後の対策は。

ウイルスの知識と手洗い、消毒、うがい、マスク着用などを日常の躰として奨励する。

本町でマスクを備蓄し災害時（いつでも、どこでも）要望があれば配布又は販売できる環境を作るのも住民の不安解消につながる。

以上、提案し見解を求める。

答

教育長

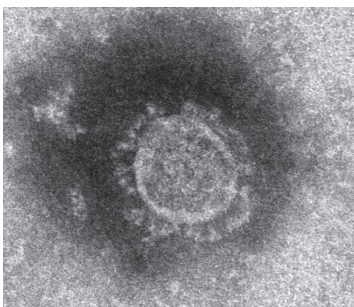
休校の要請から休校まで、学習の遅延対策、家庭での過ごし方、連絡体制の確立を図った。子どもは自宅が原則。児童クラブなど活用しているが、家庭訪問などで様子を確認。

答

町長

対策本部を設置し、今後の対策について協議している。リーフレットも配布した。

手洗いや消毒は必要。町内で発生した時に備えて消毒作業感染緊急対策セットを備蓄している。マスクは、毎年計画的に購入していく。



新型コロナウイルス
(国立感染症研究所提供)

質 持続可能な団体活動の対策は

答 できるだけお力添えしていきたい

質

年々、高齢化、人手不足、担い手不足が進み、どの団体活動も持続が難しい状況。枝が折れないうちにまた一つ枝を増やせば一人が何役も担うこととなる。

実情を皆で共有し、各団体の良いところは維持し諸課題も一緒に考える強力な協力団体として、改革の時期にきているのではないだろうか。

答

町長

多くの団体が、高齢化などにより継続が難しい状況にあることは聞いている。大変危惧していると

ころだが、なんとか持続可能な団体活動を行っていただきたいと思っている。

町としてもできるだけお力添えさせていただきたいと思っただけなので、ご相談いただければと思う。



生涯学習推進協議会



河内山宏充 議員

質 国の制度は活用されているか

その他の質問

・災害廃棄物処理計画

答 情報収集に努め、必要な事業を実施する

質

NHKニュース『島根県江津市、山口県光市では平成30年7月の豪雨災害時に国の制度を活用せず、家屋の解体費用は被災者が負担していた』との報道を受け質問する。

答

町長

当町は国の制度を十分に活用した行政サービスを実施していると言えるか。自治体の裁量として結果的に住民に不利益なことはないだろうか。

様々な国の制度については、各部署でアンテナを立てて情報収集に努めている。本町に必要な制度や有利な制度を取捨選択し、補助金・交付金、交付税措置、起債条件などを勘案して事業の選択をしている。

災害時には、県を通じて通達があることから、住民が不利益を被ることがないよう、最少の経費で最大の効果をあげるよう努める。



豪雨災害被災箇所（大野北 喜多）

質 災害対策を含む学校給食施設について尋ねる

答 学校は避難所として必要なスペースを提供する

質

学校給食の意義を尋ねるとともに、庁内検討委員会では「災害時に役立つ給食施設」は検討課題にあらなかったのだろうか。

答

教育長

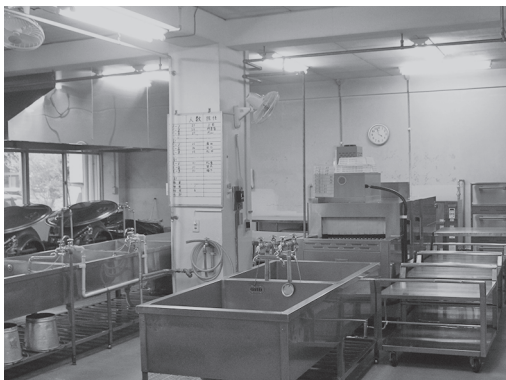
各学校とも町の指定避難所となっていることから、学校給食のあり方を財産負担・効率性のみを優先し図るとするなら見誤るのではと判断する。

災害対策を含めた学校給食の意義を考えると、町の所見を尋ねる。

学校給食の本来の意義は、児童生徒の心身の健全な発達、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うなど、あくまで教育である。

学校が避難所となるような災害時には、ライフラインも被災している可能性があることから、被災者への食事を給食室で調理することは想定していない。

被災者への食事は協定に基づき提供を受けることや炊き出しによるものを想定している。



平生中学校給食調理室

**新庁舎整備
調査特別委員会**



1月10日、受託候補者（鴻池組・ひぐち総業JV）より新庁舎の説明が行われました。

3月11日、「議会フロアの設え」について協議しました。議事堂は机等をなるべく固定せず、多目的に使えるようにするとの方向性でした。

他に本会義を各地域交流センターで中継すること、タブレット端末の導入等を話し合いました。

人事案件

同意 固定資産評価審査委員の選任

下柘義彦さんの任期満了にともない、後任に安村和之さん（浜田）が推薦され、全会一致で同意しました。

諮問 人権擁護委員の推薦

岩沼光裕さん（沼）は、今回任期満了となりましたが、引き続きのご活躍を頂きたく再度選任に全会一致で承認しました。

魅力ある議会づくり調査特別委員会

令和2年2月28日、町長が諮問した平生町特別職報酬等審議会の答申と過去の議員報酬月額一覧（下記表 一部抜粋）を参考資料として、議員の「報酬」「定数」を協議しました。

主な意見

【報酬】特別高いと思わないが、今の町財政などを考えたらなかなか言いにくいところであると思う。

【定数】きちんとした審議をすることや町内の多様な意見の反映を考えたら、もう少し多い方がいい。定数を減らすなら報酬を増やしては。

議員提案

議会運営委員会より3月9日上程され、採決は、全会一致で可決。

▽地方自治法第180条第1項の規定により専決処分事項
1. 町がその当事者である金額50万円以下の請求に係る訴えの提起、和解、調停及び斡旋に関すること。

2. 法律上町の義務に属する損害賠償の額を1件50万円以下の範囲内で定めること。

議会の動き

開催日	内容	開催日	内容
R2年 1月10日	新庁舎整備調査特別委員会 全員協議会	1月15日	広報広聴 調査特別委員会 第1回臨時会
"	"	1月24日	第1回臨時会 全員協議会
R2年 1月10日	新庁舎整備調査特別委員会 全員協議会	2月5日	田布施・平生水道 企業団議会視察研修
"	"	2月6日	広報広聴
12月26日	田布施・平生水道 企業団議会定例会	2月7日	調査特別委員会 周東環境衛生組合 議会定例会
"	"	2月19日	調査特別委員会 柳井地区広域消防 組合議会定例会
12月20日	調査特別委員会 柳井地区広域水道 企業団議会定例会	2月20日	議会運営委員会 議会定例会
12月25日	広報広聴	2月26日	田布施・平生水道 企業団議会定例会
12月26日	田布施・平生水道 企業団議会定例会	2月27日	議会運営委員会 議会定例会
"	"	2月28日	魅力ある議会づくり 調査特別委員会 全員協議会

職名	議員報酬月額(円)		
	平成9.4.1~	特例による	
		平成21.4.1~平成22.3.31	平成17.4.1~平成21.3.31
議長	270,000	256,500	243,000
副議長	217,000	206,100	195,300
委員長	204,000	193,800	183,600
議員	199,000	189,000	179,100

令和2年6月定例会会期（予定）

開催日	内容
5月28日(木)	議会運営委員会
29日(金)	全員協議会
6月9日(火)	本会議
10日(水)	本会議
12日(金)	産業文教常任委員会
15日(月)	総務厚生常任委員会
18日(木)	議会運営委員会
22日(月)	本会議

議員定数		【参考】町職員の初任給(円)	
昭和30~	22人	平成9.4.1	平成31.4.1
昭和62.6.1~	18人	大卒	171,000 / 182,200
平成15.1.1~	16人	短大卒	148,900 / 163,100
平成19.6.1~	12人	高卒	139,300 / 150,600

編集後記

昨年、令和の誕生にお祝い、お慶びが全国各地に溢れ、ワールドカップラグビーでは、にわかファンも多数登場し、応援は「ワンチーム」と言う言葉と共に日本中を一つにした感がありました。

令和2年は「2020東京オリンピック」開催の年でした。高齢者に声をかけ多数でお宮、お寺詣に、いつもと変わらない元旦を過ごし元氣な事に感謝の念を強くしました。

梅の花が咲きうぐいすの鳴き声をきくころ中学校の立志式がインフルエンザのため延期から中止でした。

桜が咲き始め、各学校の卒業式の桜が満開となった入学式は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け来賓は呼ばないなど規模を縮小して実施でした。

今は、感染予防のため体力のない高齢者への接触、複数人の集会などは自粛、「命を守る」感染対策が重要となる、経験のないきびしい生活環境になるでしょうが、コロナに負けず日本中が一つになってのりきりたいものです。

中本敦子